



ならエコファーマー通信

奈良県エコファーマー連絡会

第7号

奈良県エコファーマー連絡会 第4回通常総会を開催



奈良県エコファーマー連絡会 総会

平成22年10月27日(水)、橿原市の農業交流館にて、奈良県エコファーマー連絡会第4回通常総会を開催しました。

27名の会員、関係機関が出席、平成21年度の事業報告後、平成22年度の事業計画について協議を行い、下記の事業が承認されました。

総会終了後、環境保全型農業推進講演会を開催、(財)日本土壌協会 松本泰彦専門員より、「土壌診断によるバランスのとれた土づくりー土壌診断結果の見方ー」と題して講演

いただき、土壌の化学性診断結果の見方と、栽培作物の特性に応じた施肥改善の考え方について学びました。



環境保全型農業推進講演会 講師:松本泰彦先生(右上)

講演会終了後、技術交流会として、農業総合センターで行われている環境保全型農業の研究概要について、研究圃場を見学しながら研究員より説明を受けました。

当日欠席された方で、資料を希望される場合は、県農業水産振興課環境係までご連絡下さい。

平成22年度事業計画

(平成22年10月～平成23年9月)

■総会・役員会の開催

■環境保全型農業技術の研修、情報提供

- (1) 環境保全型農業技術研修会の開催 (10/27、2月)
- (2) エコファーマー技術交流会の開催 (10/27、1月)
- (3) ならエコファーマー通信の発行 (2回)

■エコファーマーの取組、農産物のPR

- (1) エコファーマー活動PRパネルの作成と貸出
- (2) 奈良まほろば市におけるPR (10/30～31)
- (3) 消費者交流会(エコファーマー体験ツアー)の開催

イチゴ苗等の温湯消毒技術、シロナの耕種的防除技術について

(病害防除チーム 西崎総括研究員)



ナスの植生管理による土着天敵の増加と虫害防除について

(虫害防除チーム 國本総括研究員)

有機質肥料を主体とした適切な施肥体系の検討について

(環境保全チーム 平総括研究員)



消費者交流会「エコファーマー体験ツアー」を開催しました

平成22年8月28日(土)、吉野郡下市町柘原を会場に消費者交流会を開催しました。夏休み中の開催ということもあり、親子連れを中心に38名の消費者にご参加いただきました。

はじめに菊井果樹園ログハウスにおいて、開会挨拶、エコファーマーの制度についての説明の後、出席した5名のエコファーマーが取組のPRを行いました。



開会挨拶

続いて、エコファーマー農園ツアーとして、果樹園に移動、今回果樹園見学・収穫体験を受け入れいただく水本果樹園の水本弘和さん、橋本圭司さんより、水本果樹園の概要とブドウの収穫方法についてご説明いただきました。



水本果樹園 概要説明

ブドウ園では、黄色灯や粘着シートによる害虫防除について見学するとともに、巨峰の収穫体験を行いました。

また、収穫体験後は、水本果樹園で栽培されている様々なブドウを試食させていただき、とても甘いブドウの味くらべに子どもも大人も夢中になっていました。ブドウの直売も大変好評でした。



水本果樹園訪問

黄色灯



当日は、残暑が厳しい中でしたが、心地よい汗をかきながら、参加者に収穫の体験などを通じて、楽しみながらエコファーマーの農業に親しんでいただくことができました。

今回は、当初の定員25名を大幅に上回る244名もの参加申込があり大変好評で、水本さんのご厚意で受入人数を増やしていただきました。今後も、各地域での開催を計画していますので、交流会の開催に協力いただける方は、事務局までご連絡ください。



親子で
収穫体験



さまざまなブドウの試食

参加者の声 (アンケートから)

- エコファーマーマークを今回知ることができたので、買い物に行ったら参考にして買おうと思いました。私も無農薬で野菜を作っていますが、大変さがよく分かりました。頑張っていたきたいと思いました。
- エコファーマーという制度自体を知らなかったのととても勉強になりました。
- 楽しい体験ありがとうございました。大変だとは思いますがこれからもがんばってください。

農産物販売・エコファーマークイズでPR ～奈良まほろば市～

平成22年10月30日(土)～31日(日)、橿原市の橿原公苑で「奈良まほろば市」が開催され、約47,000人の来場者で賑わいました。エコファーマーの取組をPRするため、本年度も県エコファーマー一連絡会より出展を行いました。

1日目は、エコファーマー農産物(葉菜類、根菜類、柿等)の販売を行い、会員自らPRに努めました。台風の影響により、農産物の出品ができなくなったエコファーマーもあり、例年より品数は少なめでしたが、来場者に好評でした。

2日目は、パネル展示とエコファーマークイズを実施し、楽しみながらエコファーマーに親しんでいただきました。

1日目(10/30)

エコファーマー農産物販売



2日目(10/31)

PRパネル展・
エコファーマークイズ

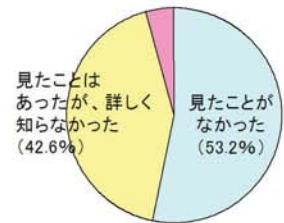
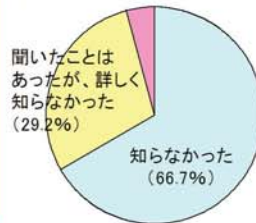
クイズ参加者へのアンケート (回答者: 48名)

①エコファーマーを
これまで知って
いましたか?

②エコファーマーマークを
これまで知って
いましたか?

言葉も意味も知っていた(4.1%)

マークも意味も知っていた(4.2%)



「エコファーマー現地研究会 in 奈良」が開催されました

平成22年10月8日(金)、農業環境ネットワーク協議会・全国エコファーマーネットワークの主催により、「エコファーマー現地研究会 in 奈良」が宇陀市において開催されました。

この現地研究会は、農園見学・収穫体験を通じて消費者・流通業者等へPRを行う取組で、奈良県エコファーマー連絡会の「エコファーマー体験ツアー」をモデルとされています。モデルとなった奈良県を会場として、全国に先駆けて実施され、県内外より55名の参加がありました。

農林水産省 農業環境対策課 横山博志生産専門官による制度説明、奈良県におけるエコファーマーの取組事例紹介の後、(有)山口農園と(有)類農園を訪問しました。

それぞれの農園で環境にやさしい農業の取組を説明いただき、収穫体験や農産物の試食、直売を通じて、楽しみながらエコファーマーについて理解を深めていただくことができました。

エコファーマー制度
と農業の現状

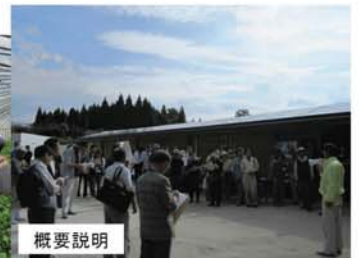
(農林水産省
農業環境対策課
横山専門官)



(有)山口農園 訪問



収穫体験
(ツルムラサキ)



概要説明

(有)類農園 訪問



農産物試食



収穫体験
(空芯菜)

地域でがんばる! エコファーマー

水本 弘和 さん (下市町・認定番号 618 号)

認定作物 : ブドウ、柿、梅



今回、エコファーマー体験ツアーで訪問させていただいた水本さんをご紹介します。

水本さんは、五條市・下市町にわたる県内最大の果樹生産地域で、ブドウ、柿、梅を中心とした果樹の栽培に家族4人で取り組まれています。

果実の味にこだわり、たい肥による土づくりを行い、油かすなどの有機質肥料を主体に施用されています。また、性フェロモン剤や黄色灯の導入により害虫の発生を抑制して、環境にやさしい農業に取り組まれています。

農産物直売や贈答用の販売に力を入れられており、消費者の多様なニーズに応えられるよう高級品種を中心に10品種以上のブドウを生産されています。

水本さんは、「味にこだわってブドウを作っているの、みなさんにぜひ一口食べていただきたい」と笑顔でお話し下さいました。



水本さんご一家

全国エコファーマーネットワーク結成 ～全国交流会開催～

平成22年9月1日、「全国エコファーマーネットワーク」が結成されました。

本ネットワークは、全国のエコファーマーが連携して技術力・経営力の向上を図り、消費者・流通関係者への情報発信を行うことを目的とし、昨年度より結成に向けた準備が進められてきたものです。

平成22年11月15日～16日、福島県郡山市において「エコファーマー全国交流会」が開催され、全国から約500名のエコファーマー・関係機関が参加の中、「全国エコファーマーネットワーク」の設立宣言が行われました。また、講演、先進事例報告、パネルディスカッションがあり、活発な意見交換が行われました。

「全国エコファーマーネットワーク」では、会員を募集中です。入会を希望される方、ご興味のある方は、全国エコファーマーネットワークのホームページ(<http://www.eco-farmer.net/>)をご覧ください。事務局の(財)日本土壌協会(電話03-3292-7281)までおたずね下さい。



設立宣言
(佐々木会長)



編集後記



活動紹介「地域でがんばる！エコファーマー」コーナーへの掲載のご希望、ご意見や記事の投稿をお待ちしています。第8号は平成23年3月発行予定です。

寒さが厳しい季節となりましたが、お体に気をつけて農作業におつとめ下さい。

発行 奈良県エコファーマー連絡会

(事務局 奈良県農業水産振興課環境係)

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 TEL0742-27-7442 FAX0742-22-9521

平成22年12月発行